

令和5年度 学校関係者評価 報告書

令和5年11月

いわき市医療センター看護専門学校

【目次】

1 学校関係者評価の概要と実施状況

- (1) 学校関係者評価の目的
- (2) 学校関係者評価委員
- (3) 学校関係者評価委員会の開催
- (4) 学校関係者評価方法

2 学校関係者評価の評価結果と内容

- (1) カテゴリーⅠ 学校経営
- (2) カテゴリーⅡ 教育課程・教育活動
- (3) カテゴリーⅢ 入学・卒業対策
- (4) カテゴリーⅣ 学生生活への支援
- (5) カテゴリーⅤ 管理運営・財政
- (6) カテゴリーⅥ 施設設備
- (7) カテゴリーⅦ 教職員の育成
- (8) カテゴリーⅧ 広報
- (9) カテゴリーⅨ 地域との連携

1 学校関係者評価の概要と実施状況

(1) 学校関係者評価の目的

- ① 実習指導者、同窓会等卒業生、看護師養成所教員経験者、母体病院職員等の学校関係者が、本校の自己評価の結果を評価することで、その客観性・透明性を高める。
- ② 学校関係者評価により、本校の学校運営や教育活動等の課題を明確にし継続的な改善を図る。
- ③ 学校関係者評価は、本校の自己評価を基に、「いわき市医療センター看護専門学校学校関係者評価委員会運営要綱」に則り実施する。

(2) 学校関係者評価委員

- ① 任期 令和5年7月20日から令和6年3月31日
- ② 委員名簿

氏名	区 分
齋藤 真紀	学生指導協議会の委員
酒井 敬子	専門学校同窓会の会員
寺田 真紀子	専門学校の卒業生
泉 晶子	大学又は看護師養成所において教員としての勤務経験を有するもの
鈴木 隆宏	いわき市医療センター事務局の職員

(3) 学校関係者評価委員会の開催

- 第1回委員会 日時： 令和5年7月20日 13:30～15:10
場所： 本校2階会議室
内容： 委嘱状交付
学校関係者評価委員会の概要説明
令和4年度自己評価結果の説明
授業見学、施設案内
第2回委員会の概要説明
委員長、副委員長の選出
- 第2回委員会 日時： 令和5年9月26日 13:30～14:20
場所： 本校2階会議室
内容： 自己評価結果の評価結果
意見交換、提案等
まとめ

(4) 学校関係者評価方法

- ① 自己評価結果について、「適正」か「不適正」の評価をする。
- ② 評価事項、評価内容、その他学校運営等について改善の意見提案を行う。

2 学校関係者評価の評価結果と内容

※

評価結果

 の用語について

「自己評価の平均」とは

⇒ 看護専門学校職員が、カテゴリー別の評価事項について5段階で自己評価したものの平均の数値

- 5 : できている
- 4 : ややできている
- 3 : 普通
- 2 : ややできていない
- 1 : できていない

「学校関係者評価の結果」とは

⇒ 看護専門学校の教職員による自己評価の結果が、「適正」なのか「不適正」なのかを学校関係者評価委員（5人）が評価した結果

(1) カテゴリーⅠ 学校経営

評価結果	自己評価の平均	4.54
	学校関係者評価の結果	適正 5 人；不適正 0 人

| | |--------| | 評価できる点 | |--------|

- ・ 関連した会議が定期的に行われ、有効な議論が行われている。また保護者や学校関係者の評価、全教員の自己評価、学生評価がされることで、客観的な意見を経営に取り入れやすく、学生の自主性、要望、理想が反映されやすい状態である。
- ・ 全教員参加でSWOT分析を行い、次年度に向けた課題を抽出していることは、教員それぞれの課題が明確となり、モチベーションの向上にもつながるものとする。
- ・ 学校運営評価を市ホームページで公表していることで、保護者や一般の方が運営状況を把握できる状況にある。

| | |---------| | 改善の意見提案 | |---------|

(特になし)

| | |-----------| | 現状や改善の方策等 | |-----------|

(特になし)

(2) カテゴリーⅡ 教育課程・教育活動

評価結果	自己評価の平均	4.45
	学校関係者評価の結果	適正 5 人：不適正 0 人

評価できる点

- ・ 電子テキスト・電子黒板が導入され、IT化の時代に合わせた授業が行われているほか、会議システム（Zoom）の活用やGoogleフォームによる授業評価（アンケート）を試行するなど、デジタル社会下での多様性にもしっかりと対応している。
- ・ タブレットで学べる環境であるため、看護技術における手順・準備物などを動画で細やかに学習できる面が良い。
- ・ 授業計画は学校の教育理念や教育目標を実現できるよう作成されているほか、スケジュールについても各科目の担当教員が作成する原案をもとに、前年度から協議・調整が行われている。
- ・ 実習評価にルーブリックを導入し、評価項目の見直しも適宜行わせていることから、質の高い教育の実現に向け、学校が常に努力している姿勢が見てとれる。
- ・ コロナ対応がある中で実習を行う授業が増えたこともあり、調整が大変だったと思うが、実習がより実践的な内容に工夫されていると感じた。
- ・ 1年生から地域の療養病棟や地域包括ケア病棟での実習を開始したことで、病棟から地域まで見据えた看護が学べる学習環境が整えられている。

改善の意見提案

- ・ 実習指導者と教員の役割の明確さ及び協働体制についての自己評価がやや低めである。反省会や打合せで実習内容を共有しているとの事だが、指導者と教員で方針が違くと現場教員や学生が混乱するので、低評価の原因と改善方法を検討する必要があるのではないか。

現状や改善の方策等

- ・ 実習指導者と教員の役割については明確になっており、実習指導要項にまとめてあるが、病棟の入院患者の状況など実践部分において役割通りに実施できない場合もあるため、お互いに協力し、学生に不利益が生じないように調整していきたい。
また、施設の指導者と実習を振り返り、実習目標が到達できるよう連携し、互いに協力、相談しやすい関係性を作っていきたい。

(3) カテゴリーⅢ 入学・卒業対策

評価結果

自己評価の平均

4.58

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 学生募集にあたり、コロナ禍で制限がある中でも、より多くの応募者を確保するため、進路相談会への参加や学校見学会の開催などに継続的に取り組んだことは評価できる。
- ・ 入学時から国家試験を意識した授業を行うほか、学生間交流の一環として3学年を混在させたグループ活動を行うなど、学生目線でひと工夫凝らした取組みも垣間見え、こうした取組みの積み重ねが、国家試験の高い合格率に繋がっているものと考ええる。
- ・ 個別に配慮した学習支援をしており、学生が学習内容や成績について相談しやすい環境にあることが学校全体の学力向上にも繋がっていると思う。

改善の意見提案

- ・ 広報紙の内容については、際立った箇所をピックアップした方が印象に残るのではないかと。学校の特徴を「見える化」することで、より多くの学生に選ばれる魅力ある学校づくりに努めてもらいたい。
- ・ 広報紙を中学、高校に配布しているとのことだが、人口減少の中、若い世代へのアピールを更に考えていかなければならないと考える。
- ・ 若い看護師が辞める傾向にあることから、継続して働き続けられる人材育成を強くお願いしたい。

現状や改善の方策等

- ・ 学校の魅力を地域の方々に伝えることや、学生確保のための活動の一環として広報紙を発行している。今後も内容を吟味して取り組んでいきたい。
また、進路について具体的に考える世代に向けた取り組みとして、現在は中学、高校に配布しているが、改めて配布場所の検討をしていきたい。
- ・ 継続して働き続けられる人材育成を行うため、定期的に自己評価を行い、社会人基礎力の育成に努めている。

(4) カテゴリーⅣ 学生生活への支援

評価結果

自己評価の平均

4.57

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 学生全員を対象に個人面談を実施するほか、成績不振者等には随時面談を行い、個人の状況に合わせた適切な助言を行うなど、学生に寄り添う姿勢が見て取れる。
- ・ 5類変更後も引き続きコロナウイルス感染対策が十分行われている。
- ・ 令和4年度からボランティア団体が設立されているが、こうした経験は社会教育の面で「自発的な行動」に対する意識が醸成され、医療の現場にも相通ずるものがあると思う。また、コミュニケーション力を高める上でも良い活動だと思う。
- ・ 学年担当制、学生交流グループの支援、スクールカウンセラーなど、学生が相談しやすい環境、システムを整えている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(5) カテゴリーⅤ 管理運営・財政

評価結果

自己評価の平均

4.47

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 予算に関しては施設整備の不具合箇所など緊急性の高いものから順次更新が行われ、授業料等については未納もなく、適切に執行管理されている。
また、学生自治会によるアンケート調査や、学校教員との意見交換の実施により、学生の意見が学校運営に十分反映されている。
- ・ 危機管理マニュアルの見直し改正が適宜行われている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(6) カテゴリーⅥ 施設設備

評価結果

自己評価の平均

4.04

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 限られた予算の中で優先順位に沿った修繕、設備が行われている。
- ・ 電子黒板、書画カメラの導入などICT教育にも順応しており、Wi-Fi環境も整備されるなど、教育という視点での環境設備は十分に評価する。
- ・ Zoomでの遠隔授業の実施はコロナウイルスの感染を回避する上でとても良かった。Zoomを利用した経験は、今後の就職や研修等にも良い学習になったと思う。

改善の意見提案

- ・ 学校生活を送るうえで、その環境設備はとても大事なことだ。建物本体の老朽化箇所については、長期的な計画等に基づき適切に修繕をお願いしたい。

現状や改善の方策等

- ・ 当校の修繕業務を行っている部門と、今後も情報提供を図りながら、突発的な修繕にも対応した上で、長期的に建物を維持するため適切な修繕をしていきたい。

(7) カテゴリーⅦ 教職員の育成

評価結果

自己評価の平均

4.36

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 教員等も研修を受講し、最新医療に係る知識や技術等を身につけているほか、ラダーシステムを通してキャリア開発にも努めており、既成概念に囚われることなく適切な指導が行われている。
また、他の教員の授業を自由に参観し、意見交換を行える場が設けられている等、職場内においても教職員のスキルアップの機会が設けられ、常に教職員の育成を意識した取り組みが確立されているものと考えている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(8) カテゴリーⅧ 広報

評価結果

自己評価の平均

4.57

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ SNSは種類によって使用したり閲覧したりする年代が違うため、同じ種類でも複数のSNSに投稿することで、より多くの人に情報発信ができたと思う。
また、学校を「見える化」した情報発信により、相乗効果として学生募集に繋がることも期待できる。
- ・ ホームページの定期的更新、Facebookの投稿、広報紙「あぜりあ」の発行など、様々な形でアピールができており、広報活動が適切に行われている。

改善の意見提案

- ・ 看護学校選びの選択肢としてFacebookを利用してもらえるよう、市内だけでなく県内のフォロワー数の増加に向けた工夫が必要と思う。
- ・ ホームページの作成にあたり学生などの若い世代のアドバイスや要望を入れてみてはどうか。

現状や改善の方策等

- ・ 当校は地域の医療を支える看護師を育成するため、積極的に進路ガイダンス等を実施している。選ばれる学校となるよう本校の魅力を発信していきたい。併せて、県内の学生を確保するため、県内向けのアピールの場を活用し、本市の看護を支える学生を増やしていきたい。
- ・ 当校のホームページからどのような情報を知りたいのか等、要望も含め、検討していきたい。

(9) カテゴリーⅨ 地域との連携

評価結果

自己評価の平均

4.36

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ コロナウイルス感染症対策を講じながら、新カリキュラムでの地区踏査やボランティア活動など、地域との連携が出来ている。
- ・ 地区踏査を行うことで地域の情勢が理解でき、健康と密接な関わりがあることが分かることはとても良い学びだと思う。
- ・ 市内の民生委員の方々の協力で地区踏査を行ったことにより、早い段階で地域の資源に触れることができたことは、より広い意味で看護を捉えることに繋がったのではないかな。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)